

JASE

現代性教育 研究ジャーナル

MONTHLY JOURNAL of SEX EDUCATION TODAY

2019 年

No. 101

2019年8月15日(毎月15日)発行

日本性教育協会

THE JAPANESE
ASSOCIATION
FOR SEX EDUCATION

〒112-0002 東京都文京区小石川2-3-23 春日尚学ビル Tel.03-6801-9307 Mail info_jase@faje.or.jp URL https://www.jase.faje.or.jp 発行人 石川哲也 編集人 中山博邦
© JASE. 2019 All Rights Reserved. 本ホームページに掲載している文章、写真等すべてのコンテンツの無断複写・転載を禁じます。

contents

東日本大震災復興支援プロジェクト報告…………… 1	多様な性のゆくえ ²⁸ …………… 10
思いこみのめがね ¹⁷ …………… 7	今月のブックガイド…………… 11
性教育の現場を訪ねて ²⁹ …………… 8	JASEインフォメーション…………… 12

◆東日本大震災復興支援プロジェクト報告

東日本大震災発生から平成 31 年 3 月で 8 年 そして令和元年を迎え、今、被災地の若者に必要なこと、 それは未来を創りあげる生きる力の強化

日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会代表 高村 壽子

未来のわたしへ

私は、今まで全部「なんとかなるさ」っていう思いで、流されるままに、適当に生きてきたけど、今日のピア(?)を通して、今までの考え方を改めるきっかけとなりました。やっぱりライフラインでも未来に対する考え方があなかったし、今が一番辛いって思っているし、だから遠く先までまわりの人達が未来を見つめることを知って焦りばかり感じてしまいました。

これから毎日後悔しない、楽しいと思えるような生き方をしていきたいし、人生最後の失敗を高校で留めておきたいです。

今日遅れてきたし、めっちゃ緊張してたし、友達も少ししかなくて、ピクピクしてたけど、みなさんが優しく接してくれて、本当にうれしかったです。

これから受験とかあるし、辛いと思うけど、多分高校生の今よりしんどくなることは少ないはず。やりたいことだけでなく、やらなきゃいけないこともきちんとやって。やるの。やりたいことはその後!!

プログラムすべてが終了した後に、未来のわたし宛のメッセージから

はじめに／実施経緯

東日本大震災被災地は8年目を迎えたが、復興の道筋はまだはるかに遠い。にもかかわらず、思春期の子どもたちも大人たちも近親者や住む場所を失った悲し

みや喪失感を胸にしまい込み、現実の生活を営んでいる。その時幼児だった子どもたちは小中学生に、小学生の子どもたちは中高校生となった。

私共は平成 25 年度から日本性教育協会の助成を受け、思春期ピアカウンセラー[®] たちが被災地の若者に寄り添いきいきと生きる力を取り戻し、将来の人

生設計の実現に立ち向かっていけるように、ピアカウンセリング手法を用いた思春期ピア性教育活動を中学校・高校へ出向き実施してきた。しかし単発的な集団に対する働きかけに限界を感じ、地域に根付いた定期的・継続的な思春期ピア相談活動への方向転換を考えるに至った。

そこで3県沿岸部中でも特に子どもたちへの被害が大きかった宮城県石巻市での実施を視野に入れて、現地調査を行った。その結果定期的・継続的な思春期ピア相談活動が展開できるためには思春期ピアカウンセラー®の継続養成が必須であるが、それを担っている本会所属宮城ピア事務局及び地域の支援者団体として思春期ピア性教育受け入れに積極的であった石巻市養護教諭自主的グループの存在と被災した子どもたちのケアをしているあしなが育英会の存在が確認された。

三者は近親者を失い心のケアを必要としている若者たちや生きる価値を将来の夢に託しながらもなお迷い続けている若者たちの心に寄り添う定期的・継続的な思春期ピア相談活動を強く希望し、同時に自分たちも被災者であるからこそ復興支援のために活動したいという思春期ピアカウンセラー®や支援者たちの意思表示がなされた。

そこで、今回の活動をモデルに将来思春期相談ルームが開催できるように、自治医科大学思春期ピアカウンセラー®及び支援者の先導のもと、宮城思春期ピアカウンセラー®及び支援者とチームを組んで活動を実施することとした。

実施活動企画

1) 日時及び会場(資料1・ポスター)

2019年6月22日(土) 10:00～14:30

宮城県石巻市あしなが育英会レインボーハウス

2) 対象者

保健・医療(看護)・福祉系の進学を目指す、石巻市在住または石巻市内高校に在籍する高校生(性別は問わない)希望者及び宮城思春期ピアカウンセラー®

3) 実施内容及び目的(資料2・タイムテーブル)

①午前: ミニ・ピアエデュケーション

テーマ: 考えよう! 1人1人の輝ける未来

資料1 ポスター

ピア(仲間)だから
わかる・わかってくれる

困っていること、
悩んでいること
何でも相談OK

ピアルームによこそ

自分の未来・・・
みんなの未来・・・

聞いて欲しい
この気持ち

さあ、これで貴方
の輝く未来が見え
てきた・・・

日時: 6月22日(土)
場所: あしなが育英会石巻レインボーハウス
(石巻市中里2-2-3。ガストさんの西隣)
時間: 10時00分～14時30分
★午前・午後参加OK ★1日参加OK
対象: 中学生、高校生
参加費: 無料

ミニミニ講座&ピア・カウンセリングコーナー
考えよう!! 一人一人の輝く未来
あなたのキャリアプランとファミリープラン
将来の仕事/恋愛・結婚・妊娠・出産・子育て・・・

個別のピア・仲間相談もあるよ!
どんなことでも大丈夫。
あなたの聴いて欲しいこと
話したいことを受けとめてくれる
思春期ピアカウンセラー
(自治医科大学ピアuzzi、宮城ピアuzzi)
が待ってるよ。

主催: 日本ピアエデュケーション・ピアカウンセリング研究会
一般財団法人 日本性教育協会
連絡先: 各校 養護教諭

～ Career Plan & Family Plan ～

②ランチ交流会

思春期ピアカウンセラー®とランチを一緒に食べながらの交流・親睦会。

③午後: 先輩ピアカウンセラーによる将来の夢相談コーナー設置

グループ・ピアカウンセリングコーナーを2箇所設置し、現在看護師・保健師・助産師、養護教諭として勤務している先輩ピアカウンセラー4名の相談活動

活動の実際と反応

活動詳細はタイムテーブル(次ページ)を参照していただき、ここではコアとなる展開を紹介する。

自分が将来何になりたいか、人生の夢/目標(以下、キャリア)を再確認し、そのキャリアを積み上げていく時期とファミリー(家族)を形成していく、特に子どもを生む時期を想定しライフラインを描く(写真1、写真2)。次に、妊娠・出産に伴う正しい情報提供を受けて、再び子どもを生む時期を考えライフライン

資料2 タイムテーブル

テーマ：考えよう！1人1人の輝ける未来～ Career Plan & Family Plan ～

日 時 令和元年6月22日（土） 10：00～11：45

場 所：石巻レインボーハウス

対象者：中学生・高校生 40名程度

- 目 的：(1) 今まで生きてきた自分を見つめてみて、将来を不安に思っている自分の気持ちを受け止めることができる。
 (2) これまで自分を支えてくれる人の存在に気づくことができる。そして自分がかけがえのない大切な存在であること、周りの仲間たちの気持ちや考えも大切にしていこうと思うことができる。
 (3) キャリアプラン（仕事を持つこと）・ファミリープラン（家族を持つこと）の2つの視点から将来について考えることで、自分の将来を見つめなおし、未来の人生設計について改めて考えるきっかけとすることができる。

時間	内容	主な流れ	詳細
10:00～ 10:05 [5]	ラポールづくり ・アイスブレイク	・ピアっ子の紹介 ・「ピア」の紹介 ・動物さがしをする ・グループ作り	・緊張をほだきラポール形成を図る *動物さがし
10:05～ 10:20 [15]	自分の夢について	・テーマの紹介 ・インタビューで共有 ・グループでの話し合い ・インタビューで共有	・今回、なぜ、何にひかれて参加したのかをインタビューする。 ・ライフラインを書く動機付けとして、自分の将来の夢・就きたい職業に目を向け、今、考えている自分のキャリア（仕事）について、先ず自由に考えてもらい、分かち合う。
10:20～ 10:55 [35]	ライフライン① ・説明（10） ・書く（15） ・発表（10）	・ピアっ子のライフライン紹介 ・グループ寄り添い ・Gシェアリング ・インタビューで共有	・現段階でどのようなライフライン：人生設計を描いているか、特に未来に重点をおいて書いてもらう。 ※きっかけとしてぴあっ子が紹介するライフラインも、未来重視で発表
10:55～ 11:10 [15]	妊娠する力、高齢出産について情報提供	・情報提供 ・インタビューで共有	・キャリアを積んで行くと同時に、妊娠・出産に対してどのような考えを持っているかを把握し、家族を持つことつまり妊娠・出産に対する最新情報を提供し、キャリアを積むことと妊娠・出産の時期を考えてもらう。
11:10～ 11:30 [20]	ライフライン② ・書く（10） ・発表（10）	・ピアっ子が考え直したライフラインの紹介 ・Gシェアリング ・グループ寄り添い ・インタビューで共有	・妊娠・出産の知識を得たところで、もう一度ライフラインを考えて再設計してみる ・結婚や出産の時期だけでなく、子どもの人数なども合わせて考えられる。 ・子どもを持たないという選択もあるので、パートナーと話し合いが重要である。
11:30～ 11:45 [15]	まとめ	・インタビューで共有	・今、考えているキャリアを実現できるように応援する。 ・女性の社会進出が進み晩婚化・高齢出産が増えているが、自分の未来のライフラインをファミリープランとキャリアプランの両面から考えられる機会になったらうれしい。 ・参加者の描くライフラインは妊娠、出産で間でしか考えられない場合が多いが、出産は育児のスタートでもあるため、社会には多様な子育て支援があるので、助けられながら仕事と育児を両立できることを提案していく。

タイムテーブル作成：J-Stars-Peer 自治医科大学思春期ピアカウンセラー^R

ンを加筆修正した（写真3）。

受講した高校生の2通りの声を紹介する。

キャリアとファミリーの両立を考えていて、妊娠・出産についての情報を得て、2回目のライフラインが少し早めになった高校生は、「今日参加してみて、最初は初めての環境で”ドキドキ、ワクワク”の気持ち

がいっぱいでした。動物探しゲームから始まって、自分の将来の夢やライフライン、妊娠・出産についてさまざまなことを考えることができました。妊娠に適する時期が思っていたより早くて、子どもが欲しくて仕事もしたい私にとって、驚きとあせりを感じました。2回目のライフラインでの計画が達成できることを願



写真1 思春期ピアカウンセラーのライフライン発表



写真2 今、考えているライフラインを描いてみよう

っています」。

将来のことは漠然としか考えていなかったが、ライフラインを描き妊娠・出産に対する情報を得て、自分の将来について具体的に考えることができたようになった高校生は、「今日の活動を通して、自分の将来について具体的に考えることができました。大学生以後の人生は今まで特に考えていなかったの、結婚や妊娠。出産、老後までのライフラインを描いたことによって、“自分って幸せな人生を送っているんだな”と感じました。今は、結婚とか自分がお母さんになることが想像できないけど、10数年後にはなっているかな？ 素敵なお母さんになっていたいと思いました。遠くない将来、夢を実現して幸せな家庭を気づけているといいな……」。

その後ランチを一緒に取りながら親睦・交流を深め、午後の部を開始した。午後のキャリア・グループピアカウンセリング活動は、自治医科大学及び宮城の思春期ピアカウンセラー®も受講生として、高校生と一緒に共感・共有しながら活動した。



写真3 妊娠に適する時期を知って、子どもを産む時期はこの時かな？



写真4 先輩ピアカウンセラーの保健師を目指した動機、素敵だな！！



写真5 グループピアカウンセリングで、皆と話して素敵な将来を見つけれられたよ！

まず現在看護師・保健師・助産師、養護教諭として勤務している先輩ピアカウンセラー4名が、各々キャリアを目指した動機や理由、実際にその夢を実現していくために努力したこと、今日のテーマであるキャリアとファミリープランについての考えを発表し(写真4)、その後ピアカフェ方式でグループピアカウンセ

リングを実施した（写真5）。

ピアカフェでは看護系の進路を考えているが不安を感じている、または将来について漠然とした不安や悩みを抱えていること等が打ち明けられ、参加者全員で楽しく真剣に話合うことが出来た。午後まで参加して高校生は、午前中に比べて表情も徐々に穏やかになり最後には素敵な笑顔も見られ、“今回の活動を通して悩んでいる自分を受け止めて、これから頑張っていこうという気持ちになった”“自分のやりたいことが見つかった。来てよかった”とメッセージを返してくれた。

思春期ピアカウンセラー® 実施後の感想（抜粋）

思春期ピアカウンセラー® たちの実施後の感想から、活動の評価を紹介する。

1) 思春期ピアカウンセラー® のリーダーは

たとえ人数が少なくても、その相手に向き合い、来てよかったと思ってもらえるような、素敵な時間にしたと思います。開始当初は高校生の表情も硬く、緊張が伝わってきましたが、時間が経つにつれて表情が柔らかくなり将来についていろいろな話をすることができました。最後に高校生から「新しい道が見えた気がする。それしかないと思いつけないで、頑張っていきたい」という言葉を聞くことができ、安心感で満たされました。

震災を経験し、大切な人との別れを経験した子も少なくありません。ライフラインを通して過去を振り返ることがつらい子もいたかもしれません。しかし、話をする中で将来の夢や希望を語る彼女たちに寄り添っていると不安定な部分もあるけど勇気がある子たちなんだなと尊敬しました。そして、私も勇気をもらいました。

2) 復興支援活動2度目の思春期ピアカウンセラー® は

今回の新展開はライフラインを2度描くことです。一度ライフラインを描いた後に、高齢出産などの情報を得て、再びライフラインを描く時間を設定しました。その結果、キャリアと子どもを産む時期を真剣に考え、少し早くなった子が多かったです。今回の被災地ピアは中学校や高校でのピア活動とは一味違うもの

でした。反面、どの場所においても同じような悩みを抱えている中高生がいることは、普段のピアエデュケーションと同じだと思いました。今回の経験を活かしもっと寄り添う心やスキルを高めて、今後の将来に不安や悩みを抱えている仲間に寄り添ってピア活動をしていきたいと思いました。

3) 初めて被災地支援ピアに参加した思春期ピアカウンセラー® は

今回は急な受講生の人数変更があり、開始予定時間に始めることができないアクシデントに見舞われた。しかし、このような状況であっても大人の方のサポートや先輩方の冷静な対応のおかげで、無事終えることができて安心した。そして、人数は少ないながらも今回来てくれた高校生が初めとは違った表情で帰ってくれたこと、特に午後まで残ってくれた高校生は将来のビジョンを立てていなかったが、最終的に「なにか分かった気がする」と言ってくれたことが非常に嬉しく、一緒に活動できてよかったと思った。

4) 被災を経験し若者の立場で参加した思春期ピアカウンセラー® は

被災地復興支援として自分自身の思いを表出し、自分の将来を考え、自分の人生を自分自身で選択できるようにサポートしていくことの必要性が分かった。今回得たことを宮城ピアの中で共有し、この活動を今後も宮城ピアが継続していきたい。

今後の方向性と課題

活動終了後、本会所属宮城ピア事務局代表は、次の様に話してくれた。

「本会所属宮城ピア事務局は被災した子どもたちが、震災の前とかわらず希望をもち、将来への夢を描くことができるように活動してきました。今回被災経験者として活動に参加し、思春期ピアカウンセラー® の存在の本当の意味と、本心から参加者中心の活動の大切さを実感したと思います。それをもとに、地元の中高生が夢や希望を描いて自分の人生を生きていくことに寄り添いながら、同時に自分自身も被災経験者として自分の人生を生きていくことを大切にする気持ちを再確認して欲しいと思います。

復興は人づくりからです。地元の思春期ピアカウンセラー®として、そしてピアっこを支援する地元おとな / 支援者として、これからもピアの活動を通して、地元・宮城の復興に携わっていきたいと思います。その一歩として石巻市に若者達の心に寄り添う定期的・継続的な思春期ピア相談室：ピアルームを開きたいと考えています。

そのためにこの活動をきっかけに地元養護教諭の先生方のピア活動への理解を深め、バックアップ体制を作りたいです。ピアルームの開設と実施については宮城 PEER 養成者とコーディネーターで相談が必要ですが、まずは手弁当で実施することを前提に石巻レインボーハウスでの実施を考えています。」

平成 25 年度から東日本大震災復興支援プロジェクトとして日本性教育協会の支援を受けて、3 県の被災地の若者の生き生きと生きる力の再構築として被災地思春期ピア性教育を継続実施してきたが、とりあえず平成 30 年度で一旦休止することになった。

それを知って 4 年間支援活動に参加していた思春期ピアカウンセラー®は、

「今回の活動で最後まで残ってくれた高校生が自分の気持ちを素直に話してくれ、将来について考えるきっかけとなったようなので本当によかったと思う。これで被災地ピア支援は最後だと聞くと、別のかたちで続けていってもらえたらと思う。例えばこのキャリア・ファミリープランニング（通称キャミファミ）を必要とする高校生たちは、被災地だけに限らず他の地域にもいると思うからと、声を大きくして広げていきたい。」

東日本大震災復興支援プロジェクトを継続実施してきた本会の、今後の方向性を以下に述べて稿を閉じる。現在の若者、特に若い女性の社会進出が急務となっている昨今、産む性として自己決定権を持つ女性自身が、キャリアの積み上げと家族を持つ特に子どもを産む時期を身体的にも心理的にもそして社会的にも適時期に実現でき、人間として、女性として、そして母親としての幸せな生き方の選択を支えられるプログラムを待っている若者が多い。今後も何らかのかたちで実施できる道筋を模索したいと考えている。

JASE 性教育・セクソロジーに関する資料室

資料室について

JASE 資料室は国内外の性教育、性科学等に関する文献資料を収集している開架式資料室です。文献資料の数は約 6 万点以上、現在も日々、増え続けています。性教育、セクソロジーに関する調査、研究のためにご利用いただけます。人間の性に関心がある方、ぜひ足をお運びください。

【閲覧】必ず事前に電話で予約が必要です (tel 03-6801-9307)。貸出業務は行っておりません。

【開室日・時間】月～金曜日 10:30～17:30

【休室日】土・日曜日、祝日、年末年始 ※その他、会議等で臨時に休室することがあります。

【コピーサービス】コピー料金は用紙サイズにかかわらず 1 枚 10 円です。著作権法の許容する範囲で行うものとします。

<https://www.jase.faje.or.jp/pub/archive.html>

資料室 利用方法

収集文献・資料

統計・調査報告書、ジェンダー・フェミニズム、性教育一般・性教育の歴史的資料、国内雑誌、障害者、セクソロジー（自然科学系、人文・社会学系）、民俗学・文化人類学・風俗、性研究史・性学史、教科書・指導書・学習指導要領、幼児期～青年期、国内学術誌、国際（海外団体資料・海外学術誌）、高齢者・家族問題、文学・評論・エッセイ・文庫・新書、官公庁資料、JASE 刊行物、映像資料、個人論文、雑誌記事、新聞記事、絵本・写真集・マンガ、江幡・篠崎・朝山・石川・ダイヤモンド文庫、ほか。

<https://www.jase.faje.or.jp/cgi-bin/search1.cgi>

思いこみ の めがね

シゲせんせーのポジティブライフ

鈴木茂義 Suzuki Shigeyoshi



公立小学校非常勤講師。14年間の公立小学校正規教諭、主任教諭を経験。
専門は特別支援教育、教育相談、教育カウンセリングなど。

勉強と部活でなんとか自分を支えていた中学校時代、いよいよ高校への進路選択が始まります。地元県立の進学校か。私立の特待生を狙うか。家の経済的な状況と学費のことを考え、私は家から少し離れた、私立の高校へ進学することにしました。

「シゲは女っぽい」「男のくせにナヨナヨしている」と思われていた中学校時代を踏まえ、私は自分のキャラ設定をする必要がありました。なんせ進学した私立高校は男子校、しかも1学年16クラス。超がつくほどの男性集団の中に飛び込むのですから、男らしさの鎧をまとして生き延びていく必要があったのです。「男っぽい自分を演出できるように」「男らしいしぐさや振る舞いができるように」毎日ほんの少しずつシミュレーションをしながら、通学をしていたことを思い出します。

高校生活は順調にスタートしました。特待生で入学した私は、入学金・3年間の授業料が無料。その代わりに、大学進学で実績を残すということを求められました。中学校時代に打ち込んでいた卓球部に入りたいと担任に志願したこともあります、勉強に集中して欲しいので部活入部は考えてと言われてしまいました。卓球部に入ることは諦めました、高校生活はそれなりに充実していました。私立の男子校ホモソーシャルの中で、クラスメイトとどう距離感とコミュニケーションをとっていかよく考えていたので、仲の良い友達もできました。授業が終わってから友達とお好み焼きを食べに行ったり、ゲームセンターに行ったりして楽しんでいました。中学校時代と比べて行動範囲も広がり、アルバイトで自分のお金を持つこともでき、世界が広がった気がしました。

「シゲって芸能人で言うと、どんな女の子がタイプなの？」出た！ この質問！ 4時間目の授業が終わり昼休みを過ごしていると、当然この手の会話になります。それは当然想定済み。一呼吸おいてから「好きなタイプ？ それは広末涼子でしょ！ ショートカット

で元気な感じがホントかわいいよね」と答えるわけです。当時、雑誌やコミックで広末涼子さんは一世を風靡し、大人気でした。彼女のテレホンカードを手に入れようと、周りの男子は雑誌の応募券を必死に集めていました。ですから「タイプの女の子＝広末涼子さん」というのは誰からも納得される回答だったわけです。ゲイというマイノリティの僕が「広末涼子がタイプ」と答えるだけで、一気にマジョリティ側になることができたのです。広末涼子さん、本当にありがとうございました！（とはいえゲイの僕から見ても、広末涼子さんは本当にかわいいと思っていました）。

僕だってかわいい女の子に対してはそういう感情も起こるし、高校時代も好きな女の子がいました。それは中学校時代から好きだった女の子で、定期的に文通もしていました。とは言え進学した高校には、かっ

こよくて魅力的な男子もいるわけです。高校時代も性的指向の揺れや揺らぎは残しつつ、やはり性的な欲求はどんどん男子に向いていきました。高校2年生くらいになると、「こ

のクラスの中で誰が一番初めに童貞を捨てるか」という話題も出てくるのです。近隣の女子高生とデートしたとか、カラオケで合コンしたとかの話も耳にするようになります。クラスメイトが興奮気味に話す様子に興味をもつフリをしながらも、心は上の空でした。

高校3年生になると、好きな男子ができました。一人は勉強がよくできて、努力家。背が高く、端正な顔立ちの子でした。2人で一緒に図書室で勉強したり、大学のオープンキャンパスに出かけたりしました。もう一人は同じクラスで、性格の穏やかな男子。爽やかでおしゃれな子でした。仲良くなればなるほど彼らとの物理的な距離は縮まる、けど心理的な距離が近づかない。近づけない。近づき方がわからない。修学旅行や相手の家に泊まったとき、好きな相手がすぐ近くにいる。その手に触れたい、触れることができない。彼らとの会話や過ごす時間はとても楽しいのだけれど、好意を持っていることを伝えることはできない。悶々とした気持ちを常にちょっとずつ抱えながら、高校生活は過ぎていきました。

第17回

「男らしさの鎧をまとして」 高校時代

[東京都立南多摩中等教育学校] (上)

念入りな準備を行い、臨んだ「学習指導要領に示されていない内容を含む性教育」のモデル授業

八王子市は東京都の南西部に位置する人口約 58 万人の中核都市。古くから織物の町として栄えているが、現在は 21 の大学等がある、全国でも有数の学園都市としても知られている。その八王子にある都立南多摩中等教育学校は、男女共学の中高一貫校。東京都教育委員会による「学習指導要領に示されていない内容を含む性教育」のモデル授業を平成 30 年度に実施したと聞き伺った。

人権尊重の精神に基づく性教育

平成 31 年 3 月、東京都教育委員会は約 15 年ぶりに教職員の指導書である『性教育の手引』を改訂した。

改訂版では、性をめぐる現代的な課題を踏まえ、避妊法や人工妊娠中絶など中学校学習指導要領に示されていない内容を含む授業の実施について、保護者の理解、了解を得ることを示し、保護者の同意が得られない児童生徒には、同じ時間に別室で学習指導要領に基づいた授業を行うとしている。

手引を作成するに当たって、平成 30 年度、産婦人科医（外部講師）によるモデル授業を 5 校で実施し、その内の 1 校が都立南多摩中等教育学校である。

実際の授業は、平成 31 年 1 月に実施されたが、南多摩中等教育学校の永森比人美統括校長は、その前年の夏頃から性に関する指導の必要性を考えていた、と語る。

学校では性に関する大きなトラブルは起こっていないが、近年は SNS による性被害が深刻な社会問題になっている。生徒たちが加害者にも被害者にもならないよう、指導を徹底させる必要性を感じていたという。また、性に関する直接的なトラブルではないが、生徒たちから思春期特有の発達段階の悩みも耳にしていた。

「いじめに関するアンケートに『自分はあまり背が低い、背の高いクラスメートから頭を撫でられたりすることは嫌だ』という声が寄せられました。このように適切なパーソナルスペースについて考えさせる等、第二次性徴に伴う体の発達に関する悩み事も生じています。生徒たちの悩みを踏まえ、人権教育に立脚した性の指導を行いたいと考えるようになりました」と永森校長。

東京都立南多摩中等教育学校

統括校長 永森比人美

生徒数 各学年 4 学級の 6 学年 計 912 名

教員数 56 名

(令和元年 5 月現在)

まず最初に行ったのは、後期課程の第 4 学年（高校 1 年生にあたる）に向けての講演会である。ジャーナリストを講師に招き『性的被害者の人権について』というテーマで話してもらったという。

「性的被害にあうと、被害者は周囲から服装の乱れなどのスキがあったのでは、と非難されがちです。しかし、講師の先生は生徒たちに『性被害は加害者の意思によって起こるものだ。被害にあった人は何も悪くない』という内容の話をされた。

通学電車内で痴漢被害にあう生徒がいます。講師の先生の言葉を聞いて、「自分は悪くない」とホッとした子どももいるでしょう」と永森校長。

授業後の生徒たちの感想文を読むと、「講演を聞いて他人事ではないという意識をもって向き合っていきたい」等の声があり、生徒たちの反応がとてもよかったのだという。

発達段階が異なる義務教育の 1 年生から 3 年生の授業はどうするか。

「ちょうどそのころ都教育委員会が産婦人科医によるモデル授業を実施することを知り、相談したところ、産婦人科医を紹介していただくことになりました」。

生徒の発達段階にあわせて、1、2 学年と 3 学年は講演の内容を変えて、1 月に実施することになった。

第 1、2 学年の授業は、近隣エリアの立川市にクリニ

学級活動指導案（第3学年）

1. 題材／青少年の身体と心(性感染症について)
思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応
2. 題材の設定理由

本校の教育目標に「人間力の南多摩」を掲げており、この目標に基づき、特別活動の目標において「集団内での望ましい人間関係の構築」を設定している。

これまでホームルーム活動を通じて、第1学年では「人間関係の構築力」等の育成に取り組んできた。今回の授業では「第二次性徴に伴う男女の性差を知るとともに人間尊重の精神に基づき、自分や相手、命を大切にする行動と人間としての生き方を考えることができるようにする」ことを目的に、保健体育科との連携を図り、生徒一人ひとりが命の大切さや自己がかけがえのない存在であることに気づかせていきたい。

【指導案A】

学習指導要領に示されていない内容を含む授業（略案）

- ・本時の目標／人間尊重の精神に基づき、自分や相手、命を大切にするための行動を考える
- ・本時の展開（導入7分、まとめ8分は、同じ内容〔省略〕）

	学習活動	指導上の注意点・配慮事項
展開 35分	●思春期の体の変化について理解する。 ●性的関心の高まりと異性の尊重や家族計画について理解する。	・思春期には性腺刺激ホルモンの働きにより、生殖機能が発達し、射精や月経がみられ、妊娠が可能となることを理解させる。 ・避妊法としてコンドーム、ピルに触れ、ピルは体調管理のためにも使用することに触れる。 ・母性保護法や人工妊娠中絶による心と体への影響について理解させる。 ・性情報への対処など、適切な態度や行動選択が必要なことを理解させる。

*指導案Aは、徳地昌代指導教諭と長岡美樹産婦人科医によるチーム・ティーチングで指導する。

【指導案B】

学習指導要領に基づく授業（略案）

- ・本時の目標／人間尊重の精神に基づき、自分や相手、命を大切にするための行動を考える。
- ・本時の展開（導入7分、まとめ8分は、同じ内容〔省略〕）

	学習活動	指導上の注意点・配慮事項
展開 35分	●思春期の体の変化について理解する。 ●性的関心の高まりと異性の尊重について考え、発表し合う。	・男女の生殖器の発達について、整理させる。 ・思春期には性腺刺激ホルモンの働きにより、生殖機能が発達し、射精や月経がみられ、妊娠が可能となることを理解させる。 ・思春期には身体的な成熟に伴う性的な発達に対して性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることを理解させる。 ・異性の尊重、性情報への対処など、性に関する適切な態度や行動選択が必要となることを理解させ、適切な行動の選択について話し合わせ、発表させる。

ックをもつ毛利素子医師を、第3学年は東京都内にクリニックをもつ長岡美樹医師を講師として紹介された。

生徒の悩みや実情に即した内容になるよう 講師と綿密な打ち合わせを行った

外部講師に講演を依頼する場合、授業のねらいやテーマ、日程を伝えて、細かい内容は専門家である「講師任せ」にしてしまうことも少なくない。

しかし、大事なことは、専門医の話が子どもたち一人一人の心に響くこと。そこで、講演会が生徒たちの悩みや生徒たちの実情に即した内容になるよう、校長、副校長、保健体育科の指導教諭の3名は、クリニックに訪問したり、講師の医師に来校してもらったりして講師の先生方と念入りに打ち合わせを重ねていったという。

「講師の先生方には、教師たちは今授業でこんな悩みを抱えている、生徒たちからはこんな相談を受ける、アンケートではこんな声が寄せられるなど、できるだけ具体的に生徒の現状をお伝えして講演内容を考えていただきました。

3年生を担当してくださる長岡医師には、性に関する

科学的な知識だけでなく、人権教育に立脚した『人としての在り方、生き方』を基盤にした内容を子どもたちにお伝えいただきたいとお願いしました」と永森校長。

中学の保健体育の学習指導要領では、「受精・妊娠までを取り扱うものとし、妊娠の経過は取り扱わない」としており、性行為や避妊については教えない。

しかし、今回3学年で行う都教委のモデル授業では、高等学校で取り上げる内容であるコンドームやピルなどの避妊法、人工妊娠中絶などの内容についても触れることになっている。同じ学年であっても子どもたちの発達段階、性的な関心の程度は大きく異なる。発達段階に応じてどのように対応するかが課題となる。

そこで学習指導案を2種類作成した。

発展的な内容の授業を受けることに保護者が不安を覚える場合は、同じ時間に別室で学習指導要領に基づいた授業を受けられるように別の学習指導案を準備し、保護者に選択してもらうようにしたという。

性教育を実施する際、保護者との信頼関係は不可欠であるが、保護者にはどのように周知・徹底させたのか。今回は授業内容も含めて紹介する。

（取材・文 エム・シー・プレス 中出三重）

安心して集える場所

この秋、日本で開催されるラグビーのワールドカップ 2019 に関連した話題を続けたい。

大会には世界の強豪 20 チームが参加し、9 月 20 日（金）から 11 月 2 日（土）までの期間に、全国 12 会場です選プール 40 試合と上位 8 チームによる決勝トーナメントの計 48 試合が行われる。

その開催期間とほぼ時期を合わせ、東京・渋谷区神宮前のコミュニティスペース subaCO（スバコ）には「プライドハウス東京」が開設される……といっても予備知識がなければ、何のことか分かりませんね。少し説明しておきましょう。

プライドハウスとは巨大スポーツイベント開催時に、性的マイノリティの人たちが安心して集える場所として期間限定で開設される施設のことだ。LGBT と総称されることが多い性的マイノリティへの理解を広げるための情報発信の拠点にもなる。

2010 年のバンクーバー冬季五輪（カナダ）で地元の NGO が性的マイノリティのためのホスピタリティ施設を初めて設け、「それいいね」ということで、その後もオリンピック・パラリンピック、サッカー W 杯などで開設されるようになった。

人づてに聞いた話だが、性的マイノリティの人たちに学校で嫌いな場所はどこだったかと尋ねると、運動場や体育館、更衣室などが上位にあがるという。スポーツに関連する場所は、安心して身を置けなかったり、いたたまれない思いを感じたりする場所だった。

逆にいえば、多くの人の関心を集める巨大スポーツイベントの開催時には、そこに観客として参加するうえでも、安心して集える場所へのニーズが存在する。バンクーバーの試みはそのニーズを可視化して示したことから「それいいね」と他都市にも波及していったのではないかな。

ただし、世界は広く、それぞれの国や都市の事情は異なる。「いいね」と思っているもなかなか前に進まないこともしばしばあった。

たとえば、2014 年のソチ冬季五輪（ロシア）では、

前年に制定された同性愛宣伝禁止法のために、プライドハウス開設は断念せざるを得なかった。その後の五輪でも、開設はしたもの実際にはオープニングイベント程度の活動で終わっていることもある。

ソチ五輪では、ロシア政府の姿勢に国際批判が高まり、開会式を欠席する各国首脳も少なくなかった。2014 年 12 月の IOC（国際オリンピック委員会）総会では、オリンピック憲章が改正され、憲章前文の 7 項目の根本原則のうち第 6 項には、性別だけでなく、性的指向による差別の禁止が加えられている。

IOC とは別の動きだが、「プライドハウス」でも、ロシアの同性愛宣伝禁止法がきっかけとなり、情報共有と連帯を目指す国際ネットワーク「プライドハウス・インターナショナル」が作られている。

プライドハウス東京は 2018 年 9 月、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、セクターを超えた団体・個人・企業がコンソーシアム（連合体）をつくり、発足の記者会見を都内で行った。東京オリンピック・パラリンピックの期間に限定した施設だけでなく「2020 年のレガシーとして、次世代の LGBT の若者が安心して集える、常設の居場所づくり」を見据えた準備作業を進めていくという。

ラグビー W 杯に合わせた「プライドハウス東京 2019」にはその予行演習的な意味合いもあるのだろう。

だが、ここでもう一度、前回コラムで紹介したオーストラリア・ラグビー協会のレイリーン・キャッスル CEO（最高経営責任者）の談話を思い出してほしい。

「ラグビーはすべての人のためのゲームであることを私たちは強調してきました。ジェンダーや人種、出身、宗教、セクシュアリティに関わりなく、誰もが安全に、そして喜んで迎え入れられていると感じられなければならないのです」

勝利よりも優先する価値を自覚的に示すこの発言により、プライドハウス東京 2019 もまた、予行演習にはとどまらない存在感を持つ施設になろうとしている。期間中にぜひ一度は訪れてみたい。

BOOK GUIDE

今月のブックガイド

欲望とジャスティスの間を振れながら

「涼美ちゃんの書いてるものって面白くて好きなんですけど、でも彼女ならもっともっとラディカルになれると思うんだよね！」

いまをときめく文章家、鈴木涼美のファンだという三十代の知人は、フェミニストを名乗るわりには男からの承認を何より欲しているタイプで、とはいえそれを肯定するにはジェンダーとかを学びすぎていて、しかし東大大学院卒の鈴木涼美に難癖をつけるほどの学識もないので、とりあえず、「涼美ちゃん」とちゃん付けした上で、彼女を保守的だと批判できるメタな立ち位置を確保しようとしていた。

と鈴木涼美風に綴ってみたのだが（汗）、本書がある種の「界限」に、上記の知人と同様の反応を引き起こすことは想像に難くない。

例えば、男女の性幻想の問題に関しても、炎上すれの理路を展開する。

「米国のポルノでは女優がアホみたいに『オーイエス』を繰り返すのに対し、日本のAVでは『いや』『だめ』が発せられる回数がアホみたいに多い」とし、日本男児の性幻想を「慎ましく閉じられた扉を開けるのが好き」と皮肉り、それを「イヤン文化」と命名する。その上で、#Metoo運動を日本の文脈で考えると、「イエスのイヤンとノーのイヤンを瞬時に嗅ぎ分ける能力がないと、イヤと言ったと主張する被害者と、イヤン脱がさないでを信仰する加害者との主張が食い違い続ける」と喝破する。

鈴木は、ノーのイヤンを言った女性に非がないことは明らかだとするが、イエスのイヤンだと読み違えた男性を一方向的に糾弾することもしない。女性も男の性幻想に加担しているわけだし、イヤン文化が女性の性幻想に関わらないとはいえないからだろう。



女がそんなことで 喜ぶと思うなよ 愚男愚女愛憎世間今昔絵巻

鈴木涼美著

集英社

定価 1400 円＋税

PC（政治的な正しさ）と快樂のあいだに横たわるグレーゾーンにスポットを当てる鈴木に、一部のフェミニズムは“保守性”を認定し、批判を加えるはずだ。しかし、彼女が試みているのは、「私の正義」によって事象を差別認定し、溜飲を下げることではない。そうした態度は、よしんば政治的に言葉を奪うことはできても、問題の本質的な解決にはならないからだ。

鈴木の本骨頂は、事象の背景を繊細に分析することで、齟齬が生じている構造をつまびらかにし、そこに問題解決への糸口を見出す、というもの。「私の正義」に淫することを禁欲し、冷徹に現実を見据える態度は、むしろ学問的にはオーソドックスで、そこに踏み止まる胆力こそをラディカル（根源的）としてもいい。

そうした政治的な議論は別にしても、本書は男女の機微に関する名言が満載だ！

「女が稼ぐモデルや概念は許容できても、ヒモ体質の男を愛せるか、稼ぐ力のない男に魅力を感じ続けられるか、というとまた別である」

「ポリティカリー・インコレクトなところをベッドの上でうやむやにするのが恋愛なわけですよ」

といった至言にたどり着くエピソードを堪能するだけでも 1400 円を払うだけの価値がある一冊である。

最初に触れたが、鈴木の記事は螺旋階段を降りるように様々な視点を繰り込みながら議論が進む。矛盾を炙り出し、自身の欲望を見据えつつ、思索を積み上げていくのである。こういう文体に心当たりがある。ウーマンリブの嚆矢、田中美津の『いのちの女たちへ』の文体だ。草創期のリブもまた、自らのなかにある媚びたい女と、媚びたくない女の矛盾を抱え込んでいく運動であった。彼女たちはそれを「とり乱し」と呼び、肯定したのだ。

欲望とジャスティスの間を振れながら歩いていく鈴木涼美が、その「とり乱し」の正統な後継者に見えるのは、私だけでもないだろう。（作家 伏見憲明）

9/8 (日)

10:00~16:30

第10回世界性の健康デー記念イベント2019 in 東京 東京性教育研修セミナー 2019 夏

Sexuality Education for All: a bridge to sexual health

性の健康への架け橋：あらゆる人に性教育を！

内 容

★会場 3F 「性の祭典」 10:00 ~ 16:00 「性の健康」に関する活動をしている民間団体の展示／活動発表コーナー

★会場 2F ホール

10:00 ~ 11:00 「第8回青少年の性行動全国調査からみえてくるもの」片瀬一男さん（東北学院大学教養学部教授）

11:00 ~ 12:00 パネル討論「若者は草食化などしていない!？」

・片瀬一男さん（上記）・大学生5名程度 モデレーター／池上千寿子さん（ぶれいす東京）

13:00 ~ 15:00 シンポジウム「男性への性教育から考えるすべての人の性の健康」

・内田洋介さん（泌尿器科医）・赤谷まりえさん（編集ライター）・澁谷知美さん（東京経済大学）ほか

15:00 ~ 16:00 パネル討論「世界性の健康デー10周年と、令和の性の健康」

会 場 ルークホール（東京都新宿区四谷1-7 持田製薬本社ビル内）

参加費・問い合わせ先等

参加費／一般2,000円 学生1,000円（学生証持参）※18歳未満の人（18歳になった高校生含む）は、保護者同伴のこと。

定 員／150名 締 切／9月4日22時（当日参加は残席次第のため、事前申し込みをお願いします）

主 催／世界性の健康デー東京大会実行委員会 協賛／日本性教育協会

問合せ・申込み先／<http://wshd.jp/> ※順次詳細を追加UP

10/5 (土)

13:00~17:00

第20回日本性科学連合(JFS)性科学セミナー

性の健康 — 平成から令和へ —

内 容

①「青少年の性行動の軌跡：1974～2017年——「青少年の性行動全国調査」の結果から」

片瀬一男（東北学院大学教養学部）JASE

②「性感染症学会における看護職の役割と課題」

齋藤 益子（東京医療保健大学東が丘・立川看護学部）JSSTI

③「性機能の立場から性の健康を考える—Future of sexual health—World meeting on sexual health 2020 へ向けて」

佐藤 嘉一（三樹会病院）JSSM

④「性相談の変遷と現在の課題」

金子 和子（日本性科学会カウンセリング室）JSSS

⑤「平成元年と令和元年の思春期男子」

今井 伸（聖隷浜松病院リプロダクションセンター）JSA

★全体討論（40分）ほか

会 場 鹿児島市医師会館（鹿児島県鹿児島市中央町8-1）

参加費・問い合わせ先等

参加費／3,000円（学生1,000円）、性科学セミナー＋日本性科学会学術集会（5日・6日両日参加）7,000円（学生2,500円）、

性科学セミナー＋日本性科学会学術集会合同懇親会（5日セミナー終了後）4,000円（学生3,500円）

問合せ先／日本性科学連合（JFS）事務局（〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-34F 日本性科学会内）

TEL：080-1242-5025 FAX：03-3396-8226 E-mail：info@jfs1996.jp URL：http://www.jfs1996.jp/

※翌6日（日）は同会場にて第39回日本性科学会学術集会「新時代の性科学を模索する～明治維新ゆかりの地にて～」が開催されます。



SEE (Sexuality Education & Empowerment) 主催 対話型ワークショップ

こんなとき、どうする？どうみる？ 性にまつわる様々なトラブル ～学校現場での被害・加害を中心に～

日時・会場

2019年10月5日(土)
10:00～12:00

会場：鹿児島市医師会館
〒892-0846 鹿児島県鹿児島市
加治屋町3番10号

定員・参加費

定員 30名
参加費 1000円
(資料代含む)

申し込み方法

(1)お名前、(2)ご所属、(3)連絡先(メールアドレスおよび電話番号)を kansaishy@gmail.com までメールでお送りください。事務局・吉田より、銀行振り込み情報などをお送りします。入金確認後、参加登録完了となります。

トラウマに対する
態度を見直して
安心して健全な
支援を行うための
ワークブック

武蔵野大学心理臨床センター



使用する教材『トラウマに対する態度を見直して安心して健全な支援を行うためのワークブック』
(武蔵野大学心理臨床センター作成)

プログラム

子どもの様子が気になる… 子どもっぽい子？ ませてる子？ 変わった子！？
児童生徒間の性的接触… 遊び？ あるいは恋愛？ それとも性暴力！？
のぞきや盗撮、つきまとい… 「やめなさい」と指導したけれど…
教員のセクハラ行為… 「同意の上」！？ 生徒も嫌がっていないみたい

学校で起こる性被害や性問題行動は、めずらしいできごとではありません。いまや「よくあるトラブル」の一つといえるでしょう。

ところが、こうした性的なトラブルへの対処をする際に生じるのが、**教職員間の認識のズレ**。問題を懸念する教職員と、「たいしたことではない、おおごとにすべきではない」と思う教職員の間で、**判断が分れて、初期対応が遅れがち**です。支援をするとなっても、「しばらく見守っておこう」とするか、「すぐに専門家のところへ」と考えるか、**どちらが適切な支援プランなのか**悩むところです。

性的なトラブルに対応するためには、まずは、教職員自身の意識や態度を見直すことが求められます。そして、学校全体で理解と方針を共有することが大切です。

本セミナーでは、支援スキルを身につける「前」に必要なスキルとして、様々な性的問題をどう捉えるか？ 児童生徒の性的な発達段階をふまえて、遊びと暴力の違いを見極める視点をみなさんと共有します。さらに、性に関する支援を行うことに伴う自分自身への影響を自覚し、(重要なのに忘れがちな)セルフケアの方法をみつけていきます。

日々の業務で直面する困難を共有しつつ、みんなで学び合う少人数制セミナーです。子どもに関わる様々な立場の方(教職員、スクール・ソーシャルワーカー、スクール・カウンセラーなど)の参加をお待ちしています。

◆主な内容

レクチャー「配慮？ 放置？ 子どもの性問題でよくある支援上のミス」
グループワーク「『私がなんとかしなくちゃ！』…支援者に生じる反応」ほか

講師プロフィール



野坂祐子 大阪大学大学院人間科学研究科・准教授、臨床心理士/公認心理師。学校や児童福祉領域での性的問題に関する臨床・研究を行う。児童相談所や刑務所での治療教育に関するスーパーバイザー。主著『マイステップ：性被害を受けた子どもと支援者のための心理教育ワークブック』(共著、誠信書房、2016年)日本性教育協会(JASE)運営委員。



吉田博美 駒澤大学学生相談室・常勤カウンセラー、臨床心理士/公認心理師。武蔵野大学心理臨床センター研究員。性暴力・性虐待被害者の心理療法の専門。米国ペンシルバニア大学不安障害治療研究センター認定 Prolonged Exposure Therapy スーパーバイザー/セラピスト。



東 優子 大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科・教授。ハワイ大学大学院でソーシャルワークを学び、教育福祉学類では社会福祉士養成課程を担当。WAS(旧・世界性科学学会)役員/性の権利委員会・副委員長。日本性教育協会(JASE)運営委員。

HOME

<https://see-academy-shy.com>

MAIL

kansaishy@gmail.com

協賛

日本性教育協会(JASE)

後援

第39回日本性科学学会学術集会

「若者の性」 白書

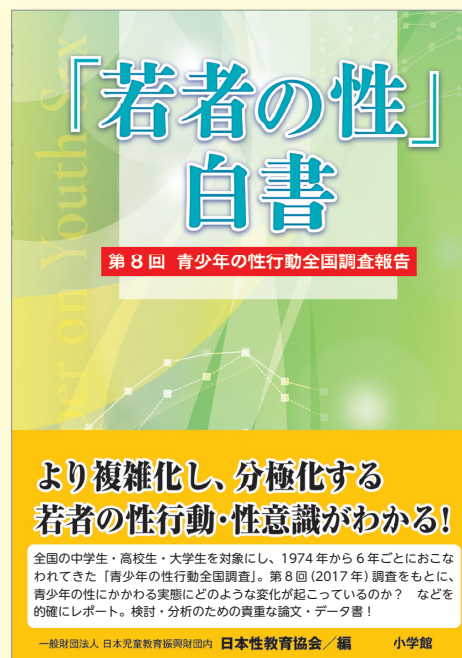
第8回 青少年の性行動全国調査報告

全国の中学生・高校生・大学生を対象にし、1974年から6年ごとにおこなわれてきた「青少年の性行動全国調査」。第8回(2017年)調査をもとに、青少年の性にかかわる実態にどのような変化が起こっているのか? などを的確にレポート。検討・分析のための貴重な論文・データ書!

主な内容

- 序 章 第8回「青少年の性行動全国調査」の概要
- 第1章 変化する性行動の発達プロセスと青少年層の分極化
- 第2章 青少年の性規範・性意識からみる分極化現象
- 第3章 家庭環境や親子のかかわりの違いは青少年の性行動に影響を与えるか
- 第4章 知識・態度・行動の観点からみた性教育の現状と今後の課題
- 第5章 青少年の性行動と所属集団の性行動規範
- 第6章 青少年の避妊行動の実態と包括的性教育の可能性
- 第7章 性的被害と親密性からの／への逃避
- 第8章 青少年の性についての悩み
～自由記述欄への回答からみえるもの～
- 付表Ⅰ 「青少年の性に関する調査」調査票
- 付表Ⅱ 基礎集計表(学校種別・男女別)

- ※コラム
- 1…性情報について
 - 2…性教育をめぐる近年の社会的動向
 - 3…LGBT学生について
 - 4…男性の性的被害
 - 5…「青少年の性行動全国調査」の困難と課題



**好評
発売中!** 本体2,200円+税
A5判 256ページ

編／一般財団法人日本児童教育振興財団内 日本性教育協会 発行／小学館

全国の書店にて、ご購入いただけます!